

家族コード： _____

記入年月日： _____ 年 月 日

IFR-JA

(家族レジリエンス不足の評価尺度)



The Japanese Version of the Assessment Scale for Insufficiencies in Family Resilience (IFR-JA)

© Natsumi Kijima, Naohiro Hohashi

ご記入にあたってのお願い

この質問紙は、現在のあなた（あなたがた）の**ご家族が直面する困難（問題・課題・困難・苦悩）**をどの程度乗り越えることができるかを評価するものです。ご家族の行為を表した各21項目には、“全くそう思わない”から“とてもそう思う”までの5段階の評価があります。普段のご家族の様子を思い浮かべながら、**あなた（あなたがた）のご家族がもっとも当てはまる数字をひとつだけ○で囲んでください。**

現在、**家族内に困難があると感じている家族**は、ご家族が各行為をどの程度行えているかをお答えください。現在、**家族内に困難がないと感じている家族**は、ご家族が困難に直面したときに、各行為をどの程度行えるかをお答えください。**できる限りご家族の方で相談しながら、ご家族全体としての意見を答えてください。**一般的に望ましいとされることにとらわれず、あまり深く考え込まず、第一印象を大切に21項目すべてに答えてください。

“**家族**”とは、**あなた（あなたがた）が家族であると考えるひとびと（あなた自身を含む）**のことで、例えば、親、婚姻関係が成立している配偶者・パートナー（同棲・内縁・事実婚関係者も含む）、子どもなどで構成されます（同居の有無は問いません）。ただし、亡くなったひと、お腹の中の赤ちゃん、ペットは含みません。また、“**子ども**”とは**18歳未満の子ども全員**をさします（例えば、実子、養子、孫、ひ孫など）。

現在、**家族内に困難があると感じている家族**は、ご家族が各行為をどの程度行えているかをお答えください。
現在、**家族内に困難がないと感じている家族**は、ご家族が困難に直面したときに、各行為をどの程度行えるかをお答えください。
あなた個人の考えではなく、**あなたのご家族全体の考え**をご回答ください。
4つの項目には、**INAP**があります。**INAP**を選んだときは、その項目のご回答は不要です。

家族全体の考え
(ひとつだけ○で囲む)

全く そう 思わない	あまり そう 思わない	どちら でも ない	少し そう 思う	とても そう 思う
↓	↓	↓	↓	↓

1 家族は、親類に支援を要請できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

2 家族は、友人に支援を要請できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

3 家族は、同じ苦勞をするひとに支援を要請できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

4 家族は、地域のひとに支援を要請できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

5 家族は、職場のひとに支援を要請できる

現在、仕事に就いている家族メンバーがいない場合は **INAP のみ**を○で囲んでください

1	2	3	4	5	INAP
---	---	---	---	---	------

6 家族は、専門職者（医師・看護師・心理カウンセラーなど）に支援を要請できる

現在、通院などを必要とする家族メンバーがいない場合は **INAP のみ**を○で囲んでください

1	2	3	4	5	INAP
---	---	---	---	---	------

7 家族は、幼稚園・保育所・学校に支援を要請できる

現在、18歳未満のこどもがいない場合は **INAP のみ**を○で囲んでください

1	2	3	4	5	INAP
---	---	---	---	---	------

8 家族は、公的支援（失業保険、介護保険、ひとり親支援、障がい者事業所など）
を探して活用できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

9 家族は、宗教（宗教的なもの、ひと、こと）を支えにできる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

10 家族で相談できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

11 家族は、解決に必要な知識を探して活用できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

家族全体の考え
(ひとつだけ○で囲む)

全く そう 思わない	あまり そう 思わない	どちら でも ない	少し そう 思う	とても そう 思う
↓	↓	↓	↓	↓

12 家族は、家族の問題を受け入れることができる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

13 家族は、家族メンバーの病気・障がいを受け入れることができる
現在、病気や障がいをもつ家族メンバーがいない場合は INAP のみを○で囲んでください

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

INAP

14 家族は、家族の中で不足している役割（子育て、家事、介護・療養上の世話、
親が果たすべき役割など）を補うことができる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

15 家族は、問題をもつ家族メンバーを支えることができる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

16 家族は、家族メンバー間の距離（心理的な関係、物理的な距離）を適切にできる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

17 家族は、心の拠りどころとなる信念を得ることができる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

18 家族は、一致団結して協力できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

19 家族は、過去の経験を活用できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

20 家族は、良好な関係を築くための時間を確保できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

21 家族は、解決に向けた目標を設定できる

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

使用上の注意：IFR-JA は，研究・実践・教育を目的とする場合は，出典を引用すれば，無料で自由に使用できる。



開発者 : 木島夏海, 法橋尚宏

開発論文 : Hohashi, N., & Kijima, N. (2025). The development and testing of an Assessment Scale for Insufficiencies in Family Resilience. *Nursing Reports*, 15(5), 145. <https://doi.org/10.3390/nursrep15050145>

ウェブサイト : <https://nursingresearch.jp/>

開発歴 : Apr. 12, 2022 1.0JA 発行
Dec. 6, 2022 1.1JA 発行
Jan. 13, 2023 1.2JA 発行
Jan. 16, 2023 1.3JA 発行
Feb. 20, 2023 1.4JA 発行

販売元 : 有限会社 EDITEX (<http://editex.jp/>)